

航空気象観測通報実施に際し観測員に必要とされる力量の一覧

分類	項目	具体的に求められる力量
実況把握	気象状況の分析と説明	各種観測データ、天気図等の資料を用いて、現在の気象状況を把握できること
	地域特性の理解	当該空港で着目しておくべき気象現象（特に航空機の運航に関わるもの）について理解していること
観測・通報	観測の実施	
	風向・風速	決められた観測方法を理解し、各観測要素を適切な手段・方法・手順に沿って観測し、記録すること
	視程、滑走路視距離	
	雲量、雲形、雲底高度	
	気温、湿度、露点温度	
	気圧（高度計規正值）	
	航空機の運航に影響をもたらすその他の重要な現象	
	通報の実施	
	観測結果の通報	通報式に関する規定のコード、フォーマットを理解し、正しい観測結果を速やかに通報すること
	通報結果の誤りの訂正	通報後でも観測結果が正しく伝わったかどうかをチェックし、必要があれば適切に訂正を行うこと
品質管理	自動観測値のチェック	目視、周辺の観測値等から、注意力をもって自動観測値の妥当性を常にチェックし、必要があれば修正を行うこと
	品質管理手順の適用	定められている品質管理手順を理解していること
	システムの動作状況の監視	各種システムの動作状態を常に確認するとともに、障害発生時にとるべき対応を理解していること
保守	システムの保守点検の実施	各種観測システムの定期的な保守点検作業を理解し、実施できること